



善正寺だより

〒:512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
☎:059-331-1670
fax:059-332-0733

掲示板法話

恋しくば 仏前に合掌、念仏せよ

「お礼の手紙」は至高の終活

高齢になると、多くの方がいわゆる「終活」を考えます。身の回りの整理や財産の相続対策、お墓の事など人さまざまですが、先日九十代で亡くなられたおばあさんは「お礼の手紙」と題された手紙をお仏壇の中に残されました。緊急入院の知らせを聞いて、駆けつけた娘さんが帰敬式を受けた時頂いた法名さんを確認しようとした時にそれは発見されました。色お褪せた用紙にボールペン書きされたお手紙です。書かれてから長い年月が経過していたようです。手紙の冒頭に「受け止める大地のありて椿落つ」という俳句が書かれています。いつ最期の時が来ても、私はお浄土に迎え取られ仏さまにさせて頂きます、という絶対安心の境地ですね。続いて「皆さん、いろいろとお世話になり、有難うございました。何のお役に立たせて戴く事もなく、お邪魔にばかりならせて戴いた私でした。でも、私には優しく迎えて下さるお浄土の世界が待っていて下さいました」



「数多くのご先祖の方々のお迎えを戴き、喜んで帰らせて戴きます。いろいろの愚痴や涙も流して下さい。お念仏を喜ぶ事の出来る人になって下さい。私に逢いたい時は、お念仏を称えて下さいね」とみ仏様の仰せにお任せの心情が記され、続いて、「南無の二の字は、其のまま来いよ 阿弥陀の三の字は 必ず救う佛の一字は、親じゃもの」。有難いみ教えでした。と仏法聴聞に勤しんだおばあさんの大安心の境地が記されていました。結びには、子や孫に対する願いが歌で詠まれています。

- ◎生かざるる命尊し 今朝の目覚め 母恋しくば 仏前に両手合わせて (合掌せよ)
- ◎自力にて生きている等思うなよ 生まれしより 他力の恵み
- ◎恵まれし命は 法の宝かな 聞き得ることの 今日嬉しさ

娘さんが書き直して印刷し、親戚知人に送られ、私にもおすそ分け頂きました。これは、往生浄土の人生

☆行事ご案内☆

報恩講 ※今年は日替わりで二人の講師をお迎え

11月2日午後1時半 お非時弁当有

講師:大竹輝道師(桑名)



3日午前10時、午後1時(三全仏婦主催)

講師:貴島信行師(大阪)

※11月2日 お非時(松花堂弁当)は持ち帰りOK
申込締切10月27日複数申込可、電話申込OK
3日昼食弁当用意・行事・世話方・遠方参詣者様どうぞ

秋勤進 11月23日午前8時行事・世話方・住職が

手分けして巡回。ご協力よろしく申し上げます

お内仏報恩講 12月7日(土)午前10時半

庫裏仏間、お弁当用意、秋勤進の時希望数伺います

夕方5時の鐘撞き年中無休 誰でも撞けます。ご褒美有

善正寺ホームページ寺報は32年間毎月発行、ブログは16年間毎日更新、QRコードから閲覧可。訪問者数45万人 一日平均90人『住職と坊守のつれづれ日記』大好評!

一緑会テレホン法話059・354・1454で3分法話

新納骨堂後継者の無い方、お墓でお困りの方ご相談を

法事場所でお困りの方本堂使用可、寺にご相談下さい

新共同墓「俱会一処」石碑境内に建立、銘板有、ご相談を



善正寺
ホームページ



住職と坊守の
つれづれ日記

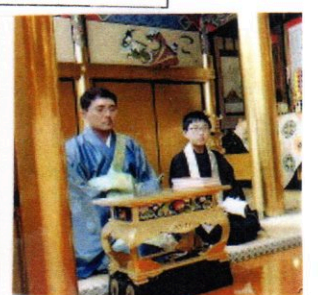


を歩まれた仏恩報謝の念を「お礼の手紙」と認められた至高の終活だと思えます。我々も学びたいものだと思います。

☆ 写真アラカルト ☆



2024.09.27 17:03



2024.09.27 17:03



坊守スケッチ

シルバー川柳に見る世相

ネットでシルバー川柳を検索して
いたら、私も同感と思える川柳が沢山
ありました。その一部を紹介します。

- ① 3時間待って病名加齢です
- ② 日帰りで行って見たいな極楽へ
- ③ LED使い切るまで無い寿命
- ④ 手をつなぐ昔はデート今介護
- ⑤ 景色よりトイレが気になる観光地
- ⑥ ご無沙汰を故人がつなぐ葬儀場
- ⑦ 万歩計半分以上が探し物
- ⑧ 足腰を鍛えりや徘徊と恐れられ
- ⑨ 見くびるな賞味期限は切れとらん
- ⑩ オレオレと見えぬ孫は巧妙に

これ以外にも共感できる川柳が盛
沢山です。例えば最近の若い人の財布
はキャッシュレスカードで一杯です
が、高齢者は診察券で溢れています。
連日新聞には、高齢者が高額被害に
遭うネット詐欺事件が報道されます。
家族の言葉には中々耳を貸さない
のに、姿の見えない犯人の巧妙な誘い
には簡単に信用してしまいがちです。
家族が縮小し、近所付き合いも希薄に
なる現代、今後益々こんな事件は増え
る可能性があります。

30年後の日本は『ファミレス時代』
を迎えると予想されています。ファミ
リーストランではなく、家族を持た
ない単身者世帯が多くなる現象です。
人生100年時代に、ネットでしか繋
がれない孤独な人々が増加します。



毎朝私が行く垂坂山にも、犬を連れ
た散歩客が増えてきました。猫を飼う
人も多くて、家族よりもペットに癒さ
れる人が多いと推察します。

ところで百寿者の研究をされている
慶応大学医学部の新井康通教授は

「老化を食い止める生活習慣は、次の
三つのキーワード。①コミュニティ

②食事、③運動、これらに心掛ければ
老人性フレイルに陥る心配はない。

また百寿者の「人生の向き合い方」の
共通点は、誠実で几帳面、意志が強い、
その上新しいことにチャレンジする開放
性に満ちている」と言われました。

皆様も報恩講を機会に、お寺で仏様
のお話を聞き、ご先祖の苦勞を偲び、
ご恩に報いる心掛けをしてみません
か？これこそ老化を食い止める第一
歩だと思えます。

お悔み申し上げます
★**嗣部久子様**(83歳) 9月23日往生
お知らせ
11月2日の報恩講「お非時」には持ち
帰り松花堂弁当を用意。班長さんが希
望を伺います。複数の申込可。他所か
ら参詣される方も可。準備の都合上
10月27日まで必要人数をお知らせ下
さい。11月3日の昼食も行事、世話
方、他所参詣者様にも弁当用意。遠慮
なくお申し出下さい。

若坊守の10月と日記No.118

十月に入っても記録的な暑さが続い
ています。お彼岸を過ぎて、ようやく
彼岸花が咲き始めました。秋はさまざ
まな分野で忙しくなる時期です。おま
けに「秋の日はつるべ落とし」という
ように十月の1か月の間に日没時間
は37分も早くなるそうです。夕方の
駅前の混雑を思えば事故が起きない
よう願うばかりです。

長男の学校では二学期が始まって
すぐに文化祭がありました。長男のク
ラスの出し物は段ボール迷路で、魔界
に迷い込んでそこから脱出するとい
う設定です。夏休み前から準備してい
たとはいえ、過密な日程で出来栄を
心配していましたが、きちんと役割分
担をして作り上げたようで、迷路を楽
しむことができました。まだ中一は無
邪気さが残っていて可愛らしいもの
です。同じ校舎内に高校生もいるので、
余計に幼く見えます。あと三年もすれ
ばあんなに大人っぽくなるのかな、と
思いながら模擬店でおにぎりや焼き
そばを食べて、学校の雰囲気味わい
ました。青春を謳歌する若者パワーを
分けてもらった一日でした。



カンパありがとう

澤田美智江様、矢田たず様、上田ひろ
子様、海野公子様(切手)、TS様他

俳壇

寺友と談笑するや秋彼岸 釋妙水
秋暑し木漏れ日の下深呼吸
埋めつくす群れて畦地に彼岸花
宝塔に供わる紅白彼岸花 釋榮邦
虫の音の一段と冴え月も冴え
秋冷や色付く木の葉散り初むる
ごろごろと入道雲の音近く 釋住安
雨が降りどんどん育つきゅうり苗
とんとときゅうりをたたき酢のものに
初霜や田畑も人も締まる顔 釋妙梅
来る来ない占いもどかし菊の花
老いの身にもう採れませぬ柿焼わ
秋暑し公民館のかき固し 釋秀龍
弁当屋のぼっちゃの声や天高し
台風裡メガネケースを閉じる音
漸くに秋の気配か夜の風 釋清風
新米を食むる幸せかみしむる
名月やお供えめざし児ら巡る

★ 編集子より ★

「善正寺だより」371号をお届けし
ます。◇暑い秋でもあったため、早く
も報恩講の季節到来か、との感じか？
◇一面の法話に登場するお方は、鹿児
島県霧島市の鈴木ミチ子さん。ご家族
のお許しを得て、転用、学ばせて戴き
たいと思います。◇老苦、病苦などで、
中々死に向き合うことは叶わず、「人
間に生まれた意味を訪ねる」ことは難
しいですが、これぞ真の終活、とのお
話に感謝。学びたいものです。合掌。

今年も残り二ヶ月。過去に経験したことのない猛暑の連続と悲鳴を上げていたのも束の間、秋は一気に深まりました。十一月は報恩講月間、善正寺も二日午後と三日午前午後、の二日間、に渡り報恩講をお勤めします。二日午後には、桑名の天竹輝道先生、三日午前と午後(仏婦主催)には大阪の貴島信行先生の二人のご講師をお迎えします。旨には松花堂弁当(非時の代わり)を用意します。行事さんかご希望人数を伺いますので、遠慮なくお申し出下さい。また遠方の方も希望教をお知らせ頂ければ幸いです。報恩講の在り方も50年前に私が寺に嫁いた当初とは大きく変わりました。当時は前日の餅つきから始まり、お華束作り、五華衆の花立て、女性達は、お非時料理の準備、ハソリ鍋二つに大根味噌汁、5升と5升のカス釜で、ご飯炊き、精進料理のおかず等、殆んどが手作りでした。しかし周囲の高齢化が進み、生活様式の変化し、コロナも経験して、報恩講も様変わりしました。今では業者さん任せになっていますが、本堂でお聴聞する形は変わりありません。また今年も熱心な方々の協力で本堂南側一部に「善正寺門徒展」を開催します。あなたの力作をお寄せ下さい。時代と共に報恩講の形も変わってきました。か八百年前に親鸞聖人によって開かれた浄土真宗のみ教えは、次世代に続く人々にもきちんと伝えたいと思います。どうかお誘い合わせてご参詣をお待ち申し上げます。

合掌

令和六年十一月

善正寺坊守拝